

政策連動型「AI専属CMO」実装事業～【日本初】官民同期による地域消費拡大モデル～

現状及び課題、解決策と目指す姿

- 徳島県は、阿波踊りや鳴門の渦潮、祖谷のかずら橋等、世界に誇る観光資源を有し、四国を代表する観光地として、国内外から幅広い旅行者を受け入れているものの、リピーターの獲得や滞在時間の延伸が課題となっている。
- 旅行者の動向やニーズを把握できるデータと、それを分析・活用できる人材が不足しており、宿泊施設等の現場では経験に基づく施策運用に留まりやすく、販売価格の最適化やマーケティング活動が限定的となっている。
- 本事業では、観光DMP、行政・DMO施策、天候・渋滞情報、事業者の売上・稼働実績等を生成AIに連携し、各事業者専属のCMOとして需要予測や価格調整、販促、多言語案内等を提案する仕組みを構築する。
- 事業者自らがデータに基づき施策を実行・検証する体制を整備し、消費拡大を通じて、通過型観光からの脱却と、行政・DMO・事業者が一体となった持続可能な観光地域づくりを目指す。

事業概要

徳島県において、生成AIを各事業者専属のCMOとして活用し、持続可能な観光地域づくりを目指す。観光データや行政・DMO施策、リアルタイムデータを連携させ、宿泊施設等の現場に具体的な改善策を提示する。DMOによる伴走支援を通じて、事業者自らが施策を実行・検証するサイクルを確立し、宿泊施設等の消費拡大を通じて、地域全体で通過型観光からの脱却と持続可能な観光地域づくりを進める。

取組地域：徳島県

コンソーシアム名：徳島県観光DX推進コンソーシアム

代表事業者：一般財団法人徳島県観光協会

実証内容

- AIを活用したリアルタイム・独自データに基づく「高精度需要予測」と「価格最適化」
- AIを活用したリアルタイム周辺情報を踏まえた「多言語フロント案内」と広域送客

目標値

KGI 参画施設の宿泊売上前年12月比(+1,296万円)

KPI AI専属CMOへの相談を経た施策実行件数(160件)

